大学の特長=魅力を 自分の言葉で表現する

志望理由書は生徒が大学へ送る ラブレターです。両想いになるため に、相手のどんなところに魅力を感 じているのか丁寧に伝える必要があ ります。

例えば「社会心理学を学べるこ と」など、生徒は志望校の特長とし てよくカリキュラムを挙げます。学 びの内容に触れていることはとても いいことです。ただ、社会心理学を 学ぶだけなら他の大学でもよいはず ですから、両想いになれません。また、 単に「○○がある」だけでは、魅力 として消極的です。少人数制である こと、英語で学べることなど、さらに 踏み込んだ特長を書かせつつ、その 魅力の下で自分が何をどう学びた いのかを示すよう指導しましょう。 特に注意したいのは、「3つのコース がある」など、"数"に注目している ケース。実際に履修するのは1コー スだけであることがほとんどですか ら、「このコースのうち、どれがどう 魅力的か を書くようアドバイスす べきです。「志望理由書完成シート」 に取り組んだ場合は、ある程度特長 を調べているはずですので、ここで 深掘りができているかも本人に振り 返らせましょう。

魅力をつかめない生徒には、研究 室やゼミを調べさせて、どの教員の 下で卒業論文を書きたいかを考えさせてみましょう。専任の教員はその大学にしかいませんので、ゼミや研究室が選べればそれだけで立派な魅力が一つ書けることになります。また調べる過程を通して学びたいテーマが具体的になるというメリットもあります。研究室やゼミを調べるために、オープンキャンパスの活用を促すとよいでしょう。

▲ 特に指摘したい よくある表現例

- ・志望校の特長が書かれていない
- ・志望校の特長として挙げていることが、他大学でも通用する特長になっている
- 環境など、学びの内容(カリキュラム)以外の特長にしか触れられていない

将来実現したいことと 大学を結びつける

志望理由書は過去と未来をつなげて考えることが大切です。 「エンジニアになりたいから工学部を志望する」「弁護士になりたいから法学部を志望する」と書くことで、わかりやすいストーリーが見え、納得しやすいからです。

とはいえ、高2の段階で将来の夢 や就きたい職業を決めるのは簡単で はありません。なのでつい、過去の 経験ばかり志望理由書に書いてしま う生徒が多いのです。将来のことを 考えるのは、大人ですら難しいもの。 今は完璧でなくても大丈夫ですので、 時間をかけて具体化させるよう指導 してください。

言語化できないだけで、ぼんやりとしたレベルであれば生徒は意外と考えているものです。例えば文理選択はその結果の一つといえます。文系と理系で職業を分けたとき、文理選択の時点で選択肢が半分になっていることになります。文系を選んでいる時点で、少なくとも医師になる選択肢は考えていないのです。文系、理系それぞれに見いだす何かがあって選んだのですから、そこから掘り下げて考えていくことは将来を考える近道になるでしょう。迷っている生徒がいたら、ヒントとしてぜひ教えるようにしてください。

▲ 特に指摘したい よくある表現例

将来の夢や解決したい社会問題など、 自分が実現したいことと志望校の特 長が結びついていない (関係性が 説明されていない、根拠がない)

できていたら褒めたい 伸ばすべきボイント

- ・志望校の特長が具体的に書かれている
- ・志望校の特長として、他大学にない魅力が書かれている
- ・志望校の特長として、カリキュラムの内容に触れられている
- ・志望校の特長と、将来自分が成し遂げたいことの関連性が納得いく形で説明されている

第1志望校を複数の大学と比較しよう

大学パンフを使って、第1志望校を複数の大学を比較してみよう。第1志望校ならではの魅力に気づけるよ。

大学名·学部名	学びたいこと・学び方・環境	‡ミにとっての推しポイント	大学が求めている人物像

Webコンテンツ「志望理由書完成シート」

志望理由書作成に役立つ 特設Webサイトのご案内

特設Webサイトでは、

実際に志望理由書を書いた大学生による作成のコツを語った動画も視聴できます。

特設webサイトへのアクセスはこちらから ▶

大学比較から 実際に志望理由書を書くところまで使える 「志望理由書完成シート」もダウンロードできます



https://qrtn.jp/n4ij2

